

安田診療所 院長 齋藤 徹 先生

平成4年に旧水原郷病院安田診療所が旧安田町に移管。国保安田診療所となり私が所長として赴任しました。平成16年に医療法人化し33年間旧安田町地区で内科診療を行ってきました。旧水原郷病院には昭和60年～平成4年の間勤務、呼吸器・消化器領域・準ICU病室での重症患者診療、CT&MRI画像診断などに従事しました。現在は外来診療・特養入所者100名の診療・産業医活動等が主な業務です。高齢者主体の診療で、特に介護施設の方々は各科に渡る疾患を併発しその対応に追われる毎日ですが、あがの市民病院各科の支援のお陰で何とか対処出来ています。一昨年より旧安田町地区の開業医は私一人となりました。今年古希を迎えますが今少し地域の皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思っています。プライベートではトランペット吹きとしてポップスバンドに参加しています。新潟市内のイベントの他、阿賀野市内でも何度かライブ演奏を行っています。こちらもうひと頑張りです。



特別養護老人ホーム 白鳥荘 植木 政行 施設長

あがの市民病院様、ならびに市内各医院の皆様には、日頃より大変お世話になっております。この場をお借りしてお礼申し上げます。

昨年より、施設と協力医療機関との連携体制の構築が見直され強化されましたが、地域によって協力医療機関が無く難航していると聞く中で、阿賀野市では、あがの市民病院地域連携室を中心として、その体制が整っていることを有難く思っております。

当施設では、高齢化に伴い緊急受診や入院が必要な方が増加しております。しかし、市外病院では緊急受入れを断られることが年々多くなり、常に地域連携室を頼りにしていることが現状です。これから益々高齢化社会となり、マンパワー不足も懸念されていくため、医療・福祉において地域での役割分担が重要となっていくと思われ、地域の皆様が安心して生活していけるよう、より一層連携の強化が必要になってきていると感じております。

当施設も、その役割の中で精一杯努めて参りますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



あがの市民病院 スワンだより

病院長のごあいさつ「新年度に向けて」

医療界では、今年は、「2025年問題」といわれる年に当たります。

ご存知のように、『「団塊の世代」(1947年から1949年生まれ)が75歳以上の後期高齢者となり起こるとされる問題』のことです。医療費・介護費の増大、現役世代の社会保障費の負担増大、働き手不足、などです。灯油や電気代、診療材料や給食材料費などの費用負担増加と働き手不足が、病院経営に大きく影響しています。

このような高齢化社会では、地域全体で、「健康」に取り組むことが求められています。自分自身の健康は、しっかり自身で守っていきましょう。また、ご近所さんで助け合ってまいりましょう。「自助」「互助」を実践しましょう。病院は、健診・医療・介護・介護予防をシームレスに提供する「地域包括医療・ケア」の中心として、本年も、行政である市と共に、力を合わせて運営してまいります。



開設者である市、運営者であるJA新潟厚生連が協同して、公設民営のモデル病院となれるように活動してまいります。

皆様の温かい見守り、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。



あがの市民病院

〒959-2093

新潟県阿賀野市岡山町13-23 代表 ☎0250(62)2780

Eメールアドレス syomu@aganocity-hp.com

ホームページアドレス <http://www.city.agano.niigata.jp>



あがの市民病院



🍬 正しくお薬は飲めていますか？

～お薬のあれこれについて薬剤師がお答えします～



**Q. お薬は水で飲む？
白湯やお茶、コーヒー、食事の最後のお味噌汁でもいいの？**

**A. 薬は、基本的に水で飲むことが推奨されています。
これは、薬の成分が水に溶けやすく、体内に吸収されやすいからです！**



なぜ水が良いのでしょうか？



薬の成分が溶けやすい

多くの薬は、水に溶けるように設計されています。水で飲むことで、薬が胃の中でスムーズに溶け出し、腸から体内に吸収されやすくなります。

他成分との反応を防ぐ

お茶やコーヒーなどには、カフェインやタンニンなど、薬の成分と反応する可能性のある物質が含まれています。これらの物質が薬の吸収を妨げたり、効果を弱めたりすることがあります。

では、白湯やお茶、コーヒー、お味噌汁ではダメなのでしょうか？

白湯

白湯は、薬の成分と反応しにくいので、水に代わるものとして比較的安全とされています。ただし、薬によっては白湯で飲むと効果が変わるものもありますので、医師や薬剤師にご相談ください。

お茶

緑茶や紅茶などに含まれるタンニンは、一部の薬の吸収を妨げる可能性があります。特に、鉄剤や抗生物質との併用には注意が必要です。

珈琲

コーヒーに含まれるカフェインは、一部の薬の効果を強めたり弱めたりすることがあります。

味噌汁

味噌汁に含まれる塩分やその他の成分が、薬の吸収に影響を与える可能性があります。

まとめ

薬は、基本的に水で飲むのが最も安全で確実な方法です。ただし、特別な事情がある場合は、医師や薬剤師にご相談の上、適切な飲み方を選びましょう！



院長のつぶやき

院長室

弥生、三月は、別れと門出の月です。ちょっと寂しい季節です。ここまで数々のご苦勞をされ、ご尽力いただき、（定年）退職、異動を迎えられた皆さまに心から御礼と感謝を申し上げます。
新たな門出に幸あれ!!

口座振替活用について



当院では、会計の待ち時間の短縮による患者サービスの向上を目的として、口座振替制度を実施しております。（取り扱い口座：新潟県内のJA口座のみ）



メリット

口座振替制度を利用することで、会計待ちの列に並ばず「お薬引換券」と「予約券」を受け取ることができます。

申し込み先

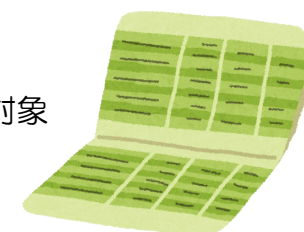
あがの市民病院 総合受付窓口 または 新潟県内のJA窓口

引き落とし日

診療日翌月の25日 ※土日・祭日の場合、翌営業日
※初回は毎月20日までのお申込みで翌月分の診療費より対象

引き落とし額

引き落とし額の連絡は、診療翌月10日過ぎに1か月分をまとめて郵送致します。



マイナンバー保険証の利用について



2023年4月より、医療機関でのマイナ保険証対応が義務化され、医療機関でマイナンバーカードの保険証利用ができるようになりました。あがの市民病院でもマイナ保険証を使用することができます。

また、2024年12月2日には現行の健康保険証の発行が終了となりました。

メリットの一例

医療機関等で高額な医療費が発生する場合でも、マイナンバーカードを保険証として使うことで、患者さんが一時的に自己負担したり、役所で限度額適用認定証の書類申請手続きをする必要がなくなります。

クリスマスコンサートが開催されました！

12月12日（木）にあがの市民病院の2階ピアノホールにてクリスマスコンサートが5年ぶりに開催されました。入院患者様、施設入所者様、一般のお客様、たくさんの方が来場されました。



女声コーラス向日葵によるコーラスが8曲披露され、また美しい音色のオカリナ&ピアノ演奏、そして途中にはサンタクロースも登場して大盛り上がりでした。職員によるコーラス虹も『きよしこの夜』をミュージックベルで演奏し、その他歌を2曲披露して、最後にはお客様も一緒にみんなで『幸せなら手をたたこう』など3曲合唱しました。